

東急車輛製造株式会社 殿

構造等の概要

改造概要等説明書 (改造自動車等審査結果通知書)

指示事項

目的	建設機械の安全輸送をはかるため、低床式セミトラクタとして新たに製作されるものである。
車体及び	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガ及びクロスメンバーとを電気溶接で組まれており、前部下面にキングピンを、後部に車軸装置を取り付けている。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急TL2555型セミトラクタと同一。(11自番 第1586号 新型自動車第10999号) 車軸は高張力鋼で、中実丸型断面で両端にスピンドルを溶接した構造を有する。
操縦装置	
制動装置	東急TL2555型セミトラクタと同一。(11自番 第1586号 新型自動車第10999号) (主ブレーキ) 気圧内縮気式 (駐車ブレーキ) スプリング式 ABS装置一式
緩衝装置	東急TL2555型セミトラクタと同一。(11自番 第1586号 新型自動車第10999号) ウォーキングビーム方式
連結装置	東急TF50H4C3型セミトラクタと同一。(18国自番 第1575号 新型自動車第16884号) 第5輪方式 IIS-D-6602に準じて製作してある。
燃料装置	

注 該当する事項が無い場合は、斜線で記入すること。

主要諸元比較表

項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準
車名	東急 TL3815G2S			乗車定員	人	-	人
型式	普通			最大積載量	kg	26000	kg
自動車の種別	普通			前軸重	kg	15300	kg
用途	貨物			後軸重	kg	11155	kg
車体の形状	セミトラ			車両	kg	≤101	kg
燃料の種類	-			後中軸重	kg	≤101	kg
原動機型式	-			後後軸重	kg	≤101	kg
総排気量	L			計	kg	≤281	kg
長さ	m	11.850	≤12m	最大安定	°	37.610	°
幅	m	(11.400)	≤2.5m	傾斜角度	°	* 52	°
高さ	m	1.685	≤3.8m	左	°	* 52	°
軸距	m	8.850+1.300		右	°	* 52	°
		=10.150		傾斜角度	°	* 52	°
輪距	m	1.940		前軸	mm	275/70R22.5	mm
前後輪				後軸	mm	148/145J	mm
後中輪				後中軸			
後後輪				後後軸			
室内又は	長さ	1.940		積載時	前軸	275/70R22.5	
荷台の内	幅	5.500		タイヤ	後軸	148/145J	
側の寸法	高さ	3.000		荷重割合	前軸	96.2	≤100%
				%	後軸	96.2	≤100%
				傾斜時前軸荷重割合			≥18、20%
車両	重量	3810		リヤ・オーバ・ハン	mm	1.250	≤1/2
前後軸重		3900		荷台オフセット	mm	4.200	≤12
後中軸重		3900		最小回転半径	m	* 11.4	
後後軸重		11610					
計							

能力強度等検討

制動力	踏力 -kg	60km/h	39m	車軸強度	σ _b /σ = 49.97/9.247 × 2.5 = 2.16 > 1.6
	空気圧	637kpa		車軸強度	東急TL2555型セミトラクタと同一
推進軸	回転数			操縦装置強度	東急TL2555型セミトラクタと同一
強度	度			緩衝装置強度	東急TL2555型セミトラクタと同一
				制動装置強度	東急TF50H4C3型セミトラクタと同一
				連結装置強度	東急TF50H4C3型セミトラクタと同一

注1. 能力強度検討は、該当しないものは、省略したものを×を記入すること。
 注2. *印は、ニッサンデューセル ADG-GW4LG型トラクタと連結時の計算値を示す。
 注3. (試作車・組立車) の欄には、該当するものを○で囲むこと。

R006518